

CASBEE-建築（新築）

評価マニュアル（2021年SDGs対応版）

抜粋

一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター

2021年7月

2.4 重み係数

評価分野間の重み係数の決定には、科学的知見だけではなく、設計者、建物所有者・管理者、行政関係者などのさまざまな利害関係者の価値観に基づく判断も必要となる。2003年版ではCASBEE研究開発委員会の専門家の投票とケーススタディを通じて重み係数を決定した。2004年版の開発の際に、CASBEE開発者を実際に利用する設計者、建物所有者・管理者、行政関係者などを含む広い範囲に対してアンケート(有効回答110サンプル)を実施し、一対比較の判断を階層的に行なうことによって複数項目の重要度を判断するAHP(Analytic Hierarchy Process)法を用いて、用途に応じて異なる重み係数を設定した。

CASBEE-新築(2008年版)の開発にあたって、LR3に「地球温暖化への配慮」の評価項目が加わっており、当該項目の社会的重要性からも、新たにアンケートを実施し254名から回答を得た。その結果、表 I .2.3に示すように、これまで(2006年版)と同じ重み係数を使用することとした。この値は、2020年版でも同じとしている。なお、各評価分野における項目間の重み係数(中項目、細項目)については、当該分野に対する各項目の影響度からエキスパートジャッジにより設定している。

表 I . 2.3 重み係数

評価分野		
Q1 室内環境	工場以外	工場
	0.40	0.30
Q2 サービス性能	0.30	0.30
Q3 室外環境(敷地内)	0.30	0.40
LR1 エネルギー	0.40	
LR2 資源・マテリアル	0.30	
LR3 敷地外環境	0.30	

<参考>集合住宅の共用部の一次エネルギー消費量の評価について
 共用部の一次エネルギー消費量を算定されていない場合、手計算により次の数値を入力する。

(1)共用部の基準一次エネルギー消費量(その他一次エネルギーを含む)[GJ/年]

・実績統計値に基づく一次エネルギー消費量;

522(屋外廊下)又は801(屋内廊下)[MJ/m²年]×共用部面積[m²]/1000

(2)共用部の設計一次エネルギー消費量(その他一次エネルギーを含む)[GJ/年]

・共用部の基準一次エネルギー消費量[GJ/年]×BEI(又はBEIm)

3 一次エネルギー消費量の転記

	非住宅部分	住宅部分		合計
		住戸合計	共用部(一部実績統計値に基づく入力)共用部(一部実績統計値に基づく入力)住戸	
■基準一次エネルギー消費量(その他一次エネルギーを含む)			(1)	0.00 GJ/年
■設計一次エネルギー消費量(その他一次エネルギーを含む)			(2)	0.00
■太陽光発電等エネルギー量(③オササの取組) 総量※	0.00			0.00
うちBE評価に含まれる量(ex.自家消費分相当)				0.00

図 I . 3.7 共用部の一次エネルギー消費量の入力「計画書シート」